

脳神経外科

(スタッフ)

部長 : 中野 俊久
 部長 (がんセンター脳神経外科) : 永井 康之
 副部長 : 下高 一徳

令和2年4月より現行の3人体制で診療を進めております。

(診療実績)

2021年の入院患者数は169名でした。

手術件数は100例で、新型コロナウイルス感染症のためもあり、入院数は前年とほぼ横ばいでしたが、手術数は少し回復しました。

手術では、脳腫瘍の摘出および集学的治療、内視鏡を用いた下垂体腫瘍手術、脳動脈瘤など主要な手術など幅広い分野で手術を行っております。

さらに、小児脳神経外科専門医の下高副部長が奇形等小児に対する手術等積極的に手術を行っております。

正常圧水頭症に対するシャント手術や脳脊髄漏出症に対するブラッドパッチ(硬膜外自家血注入)も引き続き行っております。

一次脳卒中センター(神経内科とともに)の実績は、rt-PA 静注療法が10例、血栓回収療法が8例、CASが3例でした。

(今後の方向性)

基幹病院として専門性が重視される中、スタッフ一同でレベルアップを図り、脳神経外科全般に対応できる体制を維持してまいります。

また、ご紹介医の先生方と連絡を密にとり、満足いただける医療を提供いたします。

当院は、日本脳神経外科学会、日本脳卒中学会の認定施設であり、若手医師の教育にも力を入れています。

脳神経外科は救急対応が必要な症例が多く、救命救急センターと協力し、24時間を通して質の高い医療を提供していく所存です。

また、総合周産期母子医療センターとも連携し、質の高い新生児・小児脳神経外科診療を提供していく所存です。

(文責：中野俊久)

表1 入院患者数

(単位：人)

	2019年	2020年	2021年
総入院数	230	178	169

表2 手術件数

(単位：件)

	2019年	2020年	2021年
総手術数	125	86	100
脳腫瘍	21	11	17
(1)摘出術	11	6	11
(2)生検術(開頭術)	0	1	1
(2)生検術(定位手術)	4	2	3
(3)経蝶形骨洞手術	3	2	2
(4)広範囲頭蓋底腫瘍切除・再建術	0	0	0
:その他	3	0	0
脳血管障害	33	15	14
(1)破裂動脈瘤	6	5	7
(2)未破裂動脈瘤	1	0	0
(3)脳動静脈奇形	3	1	0
(4)頸動脈内膜剥離術	1	0	0
(5)バイパス手術	0	0	0
(6)高血圧性脳内出血(開頭血腫除去術)	5	3	2
(6)高血圧性脳内出血(定位手術)	2	3	1
:その他	15	3	4
外傷	32	16	28
(1)急性硬膜外血腫	2	0	2
(2)急性硬膜下血腫	5	3	4
(3)減圧開頭術	0	0	0
(4)慢性硬膜下血腫	22	11	16
:その他	3	2	6
奇形	1	2	4
奇形:(1)頭蓋・脳	1	1	0
奇形:(2)脊髄・脊椎	0	1	4
奇形:その他	0	0	1
水頭症	16	18	25
(1)脳室シャント術	13	14	19
(2)内視鏡手術	0	1	0
:その他	3	3	6
脊椎・脊髄	0	0	0
(1)腫瘍	0	0	0
(2)動静脈奇形	0	0	0
(3)変性疾患(変形性脊椎症)	0	0	0
(3)変性疾患(椎間板ヘルニア)	0	0	0
(3)変性疾患(後縦靭帯骨化症)	0	0	0
(4)脊髄空洞症	0	0	0
:その他	0	0	0
機能的手術	8	14	1
(1)てんかん	0	0	0
(2)不随意運動・頑痛症(刺激術)	0	0	0
(2)不随意運動・頑痛症(破壊術)	0	0	0
(3)脳神経減圧術	1	4	0
:その他	7	10	5
脳血管内手術	10	7	7
(1)動脈瘤塞栓術(破裂動脈瘤)	2	2	2
(1)動脈瘤塞栓術(未破裂動脈瘤)	2	1	2
(2)動静脈奇形・瘻(脳)	0	0	0
(2)動静脈奇形(脊髄)	0	0	0
(3)閉塞性脳血管障害	3	3	3
(3)上記(3)のうちステント使用例	3	1	3
:その他	0	0	0
その他:上記の分類すべてに当てはまらない	4	3	4